

2026

Examination Guide

建築CAD検定試験

ArchitecturalCAD
Certificate Examination



ごあいさつ

1980年代初期に始まった設計部門のCAD化の波は、建設業界に大きな技術革新を呼び起こしました。しかし、急速なCAD化の波は教育界にも例外なく押し寄せ、指導書や教則本さえない時代、教育現場では大きな不安と混乱を招いたのも事実でした。

そうした時代背景の中、全国各地ではCAD教育のあり方をテーマとしたシンポジウムが数多く開催され、CAD教育におけるガイドライン作りの必要性が議論されました。

そして1993年、全国の多くの教育機関のご協力のもと日本初の建築CADの資格試験「建築CAD検定試験」が誕生いたしました。

試験開始から33年を経た今日、国内最大規模のCADの実技試験として全国770校に上る教育機関や、従業員のスキルアップを目的とする建設関連企業などにも採用され、令和7年12月現在、総受験者数は186,700名、有資格者は126,300名に達しています。

様々な業務が複合化した現代の建設業界では、幅広い知識と技能を持ち組織内での横断的な活躍・役割をこなせる有能な人材が求められています。

なかでもCAD技術を有する人材は企業の設計部門にとどまらず、建設現場・営業・商品開発・企画広報・事務・人材育成部門など多岐にわたる分野での活躍が期待され、近年大きな注目を浴びています。

当連盟の目的は、高い知識と技能を兼ね備えた有能なCAD技術者を社会へ輩出し、わが国の基幹産業である建設関連業界の健全な発展に寄与するとともに、CAD有資格者の社会的地位の確立・保全を目指すところにあります。

本資格がCAD技術者としてのプロフェッショナルを目指す人々の、未来への果敢なるチャレンジにつながりますことを心からお祈りします。

一般社団法人全国建築CAD連盟
試験センター

沿革

- 1993年 4月
 - ・全国建築CAD連盟 (AAACL) 設立
- 1993年 5月
 - ・建築CADデザイナー資格認定試験
建築CAD検定試験団体受験開始
- 1995年 10月
 - ・一般受験制度開始
- 2002年 10月
 - ・インターネット受験開始
- 2003年 4月
 - ・全国工業高等学校長協会・ジュニアマイスター顕彰制度の対象資格に認証
 - ・高等学校対象 4 級試験開始
- 2003年 6月
 - ・公式ガイドブック発刊
- 2004年 1月
 - ・模擬テスト開始
- 2005年 1月
 - ・中間法人格の取得
- 2005年 4月
 - ・技能表彰制度開始
- 2005年 5月
 - ・建築CAD教育者セミナー開始
- 2007年 5月
 - ・建築CADデザイナー資格認定試験終了
- 2008年 10月
 - ・准 1 級試験開始
- 2008年 12月
 - ・法人格が一般社団法人へ移行
- 2016年 4月
 - ・法人賛助会制度設立
- 2020年 11月
 - ・WEB 認定証発行開始
- 2021年 4月
 - ・企業・法人向け社内受験制度の開始
- 2022年 1月
 - ・受験者総数 150,000 人を突破
- 2022年 3月
 - ・有資格者が 100,000 人を突破
- 2022年 4月
 - ・全国農業高等学校長協会・アグリマイスター顕彰制度の対象資格に認証
- 2023年 11月
 - ・試験認定校 750 校を超える
- 2024年 10月
 - ・准 2 級試験 団体受験開始
- 2025年 4月
 - ・准 2 級試験 一般受験開始

受験方式のご案内

受験方式・実施級	対象	内容・要件
団体受験 准1級・2級・准2級・3級・4級 <small>※4級は高校生のみ</small>	教育機関に通われている方	CADを教えている教育機関、たとえば大学、短大、高専、専門学校、高校、職業訓練校、各種スクールなどの学生・生徒が、その通っている教育機関を会場とし受験するもので、年4回(4月・7月・10月・1月)行っています。団体受験を希望される場合は事前に「試験認定校」への申請・登録(無料)が必要になります。
一般受験 准1級・2級・准2級・3級	一般の方 <small>※教育機関に通われている方、企業にお勤めの方を含む</small>	通われている教育機関が当連盟の試験認定校以外の学生の方や社会人の方のための受験方法で、年2回(4月・10月)行っています。この受験方法は全国に用意された会場で、会場にあるパソコン・CADソフトで受験するか、あるいはご自分のノートパソコンを持参して受験します。
社内受験 2級・准2級・3級 <small>※准1級は実施いたしません</small>	企業にお勤めの方	社会人の方がお勤めの企業を会場として受験するもので、年間を通し随時実施いただけです。試験認定校のように事前に申請・登録する必要はありませんが、受験人数に要件があり5名様からの実施となります。

試験の基本情報

- 建築CAD検定試験は1993年に日本で初めて誕生した、建築系のCAD資格試験です。
- 年間約1万名の方が受験するわが国最大規模のCADの資格試験です。
- 全国770校に上る教育機関や建設関連企業などで採用されています。
- 筆記試験は課さない実践型の「実技試験」です。
- 試験は汎用CADソフトを使用して実施します。
- 等級は准1・2・准2・3・4級の5等級で構成され、受験者のスキルにあわせ受験できます。(4級は高校のみ)
- 受験者の等級ごとの構成比率は准1級/1%、2級/41%、准2級/3%、3級/41%、4級/14%です。(2024年度)
- 各級の合格率は准1級/19.2%、2級/60.1%、准2級/58.9%、3級/72.2%、4級/89.9%です。(2024年度)
- 受験方法は、各学校で実施する「団体受験」、個人で受験する「一般受験」、企業で受験する「社内受験」があります。
- 試験は年4回(4月・7月・10月・1月)実施します。 ※一般受験は年2回(4月・10月)、社内受験は随時実施。

受験使用CADソフト例

当試験で使用できるCADは2次元の「汎用CAD」のみになります。

汎用CADとは、専用CADのように特定の業種に特化し数値を与えることで図面を自動生成する機能を持たないCADのことで、どのような分野でも利用できる自由度の高いCADソフトです。

代表的な汎用CADに

- Jw_cad・AutoCAD・AutoCADLT・VectorWorks・DraftSight・DRA-CAD などが 있습니다。

2026年度試験日程

		第104回試験 (2026年4月)	第105回試験 (2026年7月)	第106回試験 (2026年10月)	第107回試験 (2027年1月)
願書受付 期間	団体	2026年 1月15日(木)~ 2月20日(金)	2026年 4月15日(水)~ 5月20日(水)	2026年 7月15日(水)~ 8月20日(木)	2026年 10月15日(木)~ 11月20日(金)
	一般	2026年 2月2日(月)~ 2月20日(金)		2026年 8月3日(月)~ 8月20日(木)	
試験日	団体	2026年 4月5日(日)~ 26日(日) の期間内で選択	2026年 7月5日(日)~ 19日(日) の期間内で選択	2026年 10月4日(日)~ 25日(日) の期間内で選択	2027年 1月10日(日)~ 24日(日) の期間内で選択
	一般	2026年 4月5日(日)・12日(日) 19日(日)・26日(日) のいずれか		2026年 10月4日(日)・11日(日) 18日(日)・25日(日) のいずれか	
試験時間		団体受験は開始時間を自由に設定いただけます。 (准1級:4時間10分/2級:5時間/准2級:3時間/3・4級:2時間) ※准1級は10月のみ実施			
合格者発表(Web)		2026年5月下旬	2026年8月下旬	2026年11月下旬	2027年3月中旬
合否結果通知発送		2026年6月中旬	2026年8月下旬	2026年12月中旬	2027年3月中旬
受験料 (税込)	団体	准1級/15,000円 2級/12,000円 准2級/11,500円 3級/11,000円 4級/3,500円			
	一般	准1級/15,500円 2級/12,500円 准2級/12,000円 3級/11,500円			

※企業の社内受験は年間を通して随時実施が可能で、受験料は団体受験の料金になります。結果通知は試験の約1ヶ月後に発送します(Web上での発表はございません)。

受験方式	受験手続きのながれ
団体受験	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の実施月の4ヶ月前になると各試験認定校あてに試験実施の案内を送付いたします。受験希望者がいる場合は人数分の受験願書をご請求いただけます。 ・受験者が記入した受験願書を取りまとめて連盟にご提出いただき、受験料も取りまとめて一括してご入金いただけます。 ・試験実施の前月中旬に受験票を各学校宛てに発送しますので、受験予定者に配布いただけます。 ・試験当日は、監督業務を各試験認定校に委託し実施いたします。 ・連盟にて採点を行い、結果通知書を各試験認定校ごとにまとめて送付いたします。
一般受験	<ul style="list-style-type: none"> ・受験申込み開始日直前になると、一般受験の会場詳細がホームページ上で発表されます。試験の実施日時、会場の住所、実施される等級、設置されているCADソフト名、ノートパソコン持ち込みの可否などをご確認のうえお申込みいただけます。 ・お申込みはインターネットからのみとなります(受験料のお支払い方法はクレジットカードのみ)。 ・試験実施の前月中旬に受験票を各個人宛てに発送します。 ・結果通知書は各個人あてに送付いたします。
社内受験	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の実施は年間を通し随時可能で、実施予定日の1ヶ月前までにホームページから受験希望の申請を行っていただけます。 ・ご申請後、手続に必要な書類をメールいたしますので、1週間以内に受験者のリストと試験の実施日時のご提出ならびに受験料のご入金をいただけます。受験料のご入金の際の振込名義は会社名でお願いいたします(個人による入金を受け付けておりません)。 ・試験実施の1週間前に受験票と試験問題を各企業宛てに発送します。 ・試験当日は、監督業務を各企業に委託し実施いたします。 ・連盟にて採点を行い、結果通知書を各企業にまとめて送付いたします。

建築CAD検定試験の能力設定

当試験は建築CADの操作技能レベルを客観的に判断し、実社会へ証明する実践型の実技試験です。試験はCADの操作能力に加え基礎的な建築知識も問われ、真の実務能力が試されます。各等級の有資格者として求める能力は下記のとおりを設定しています。

准1級

准1級は、『設計者から与えられた計画段階の図面を、設計者の意図を読み取り制限時間内にCADシステムで全て完成させるためのあらゆる知識と高度なテクニックを持ち備えているか』を判定します。

試験では、過去の一級建築士試験の設計製図課題に準拠した密度と分量の課題図面を読み解き、図面全体の作成手順を見越す知識と経験が要求されます。すなわち実社会の業務で通常必要とされるレベルではなく、それをはるかに上まわる卓越した実力を持ち合わせているかが試されます。

2級

2級は、『設計者から与えられた「図面のラフスケッチ」から、CADシステムで建築一般図を描く実力があるか』を判定します。試験で与えられる平面図・屋根伏図・断面図などがここでいう設計者のラフスケッチに相当します。試験では平面図をもとに平面詳細図を作成する出題が課せられ、建築図面の理解力に加えてCAD操作に関する高い知識と技術(スピード)が試されます。また同時にいくつかの2次元図面や透視図を読み取り正確に立面図を作成する課題も課せられ、自らの建築知識からそれがどんな建物を表現しているかを立体的に理解する能力があるかを試していきます。

准2級

准2級は、『設計者から「詳細な指示」が与えられれば、CADシステムで建築一般図を描ける(トレースできる)能力があるか』を判定します。試験で与えられる平面詳細図と立面図のそれぞれの「参考図」と「完成図」がここでいう「設計者からの詳細な指示」に相当します。試験では建築一般図への理解力、例えば平面詳細図の壁や建具の位置とグリッドとの関係性や立面図の屋根の描き方などの基本が理解できていることが要求されます。また同時に、CAD操作の正確性と速さも必要とされ、2級と同等レベルのCADに関する高い知識と技術を持ち合わせているかが試されます。

3・4級

3級・4級は、『設計者から「詳細な指示」が与えられれば、CADシステムで平面図の部分図を描ける(トレースできる)能力があるか』を判定します。3級・4級の試験問題の各課題図面で示される「参考図」がここでいう「設計者からの詳細な指示」に相当します。与えられた課題から瞬時に作図手順を判断する能力に加え詳細な指示に対してどれだけ正確にCADを操作できるかを測ります。

課題は、実務で建築図面を描くにあたり必ず要求されるコマンド操作を理解していないと完成できないように作成されており、社会で最低限必要とされる基本的なCAD操作能力の有無を試します。

准1

准1級試験

＜試験時間：4時間10分（CADシステムの設定：10分、課題図面の読み解き・入力計画：30分、作図：3時間30分）＞

出題内容

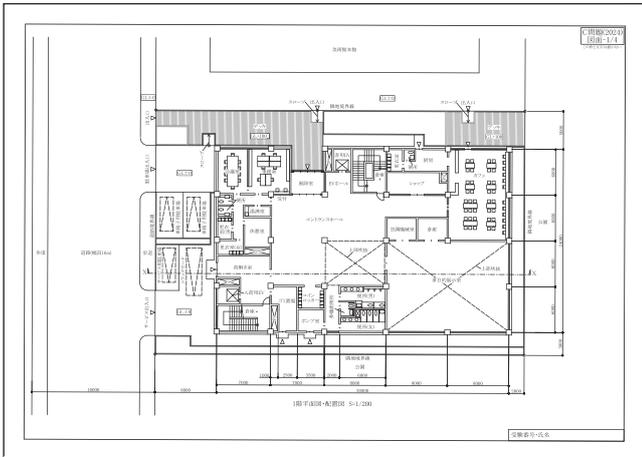
課題として与えられた建築図面（RC 構造等）を、自らの建築製図知識とCADの経験を駆使したうえで、建造物の特性を理解した適切な判断によるトレースを行なってこれを完成させる。
試験は実技試験で、下記の例に示す建築一般図を4面作成する。

- ＜例＞
- ・配置図、1階平面図、外構（S=1/200）
 - ・2階平面図（S=1/200）
 - ・3階平面図（S=1/200）
 - ・断面図（S=1/200） など

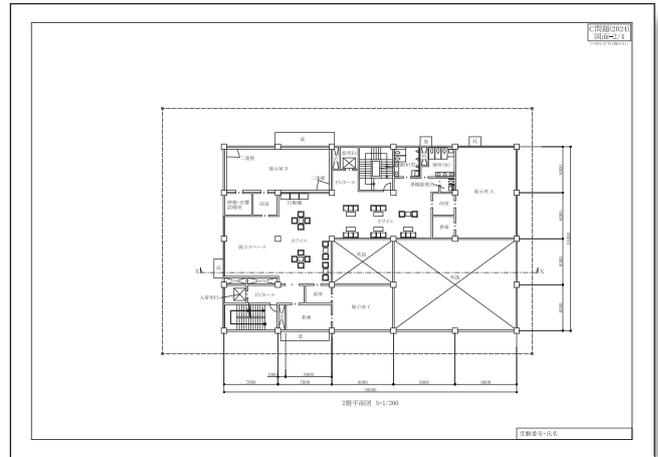
※建物の種類によって課題図面が上記の例と異なる場合があるが、全体の図面の分量は同程度である

■ 出題例（A3サイズ）

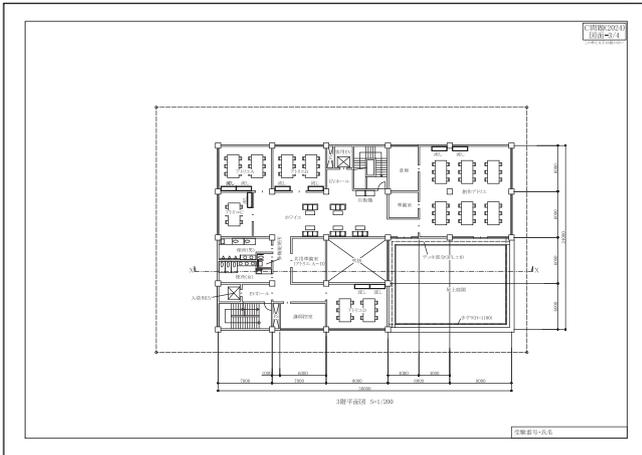
【1階平面図・配置図】



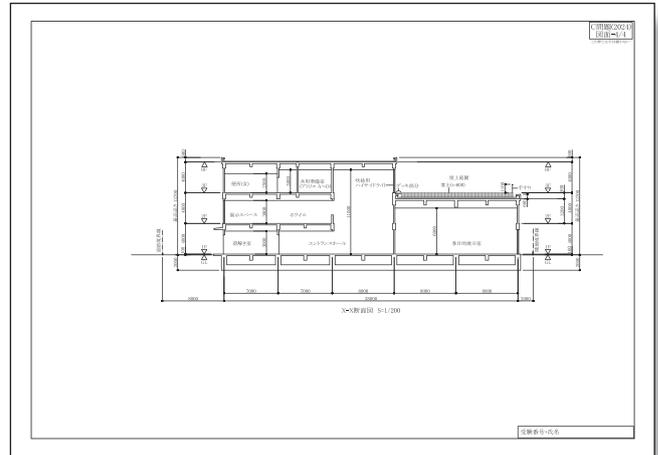
【2階平面図】



【3階平面図】



【断面図】



POINT

使用するCADシステムの設定ができます

試験開始後すぐに10分間のCADシステムの設定時間が与えられます。ショートカットキーの設定や作業効率の高いかつ自らが使いやすいCAD環境の設定をここでを行います。

入力計画時間が与えられます（30分間）

各課題図面を読み解き、いかに早く効率よく作図するかをここで計画します。課題図面は膨大な分量のため、この試験にとってこの入力計画の時間は大変重要になります。

課題の作図

課題図面（全4面）では、柱・壁の位置など必要最低限の寸法しか示されませんので、寸法指定のない箇所は受験者の適切な判断にて入力します。スケールでサイズや位置を読み取ってもよいですが、階段、ドアの開口幅、エレベータ、トイレ設備類、外構図用図形などは、その適切なサイズ・規格サイズについて最低限習得しておくことが望ましいでしょう。

2

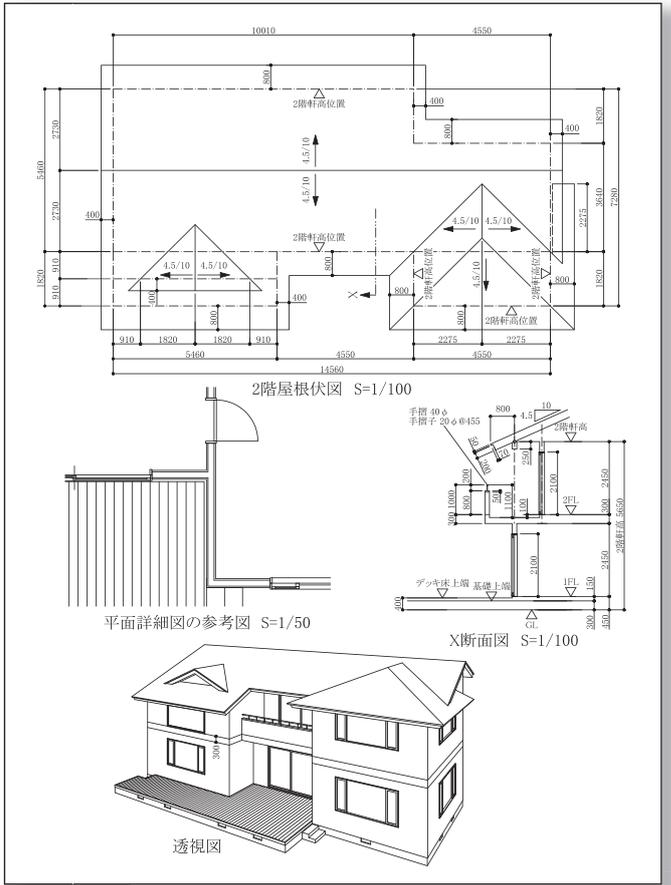
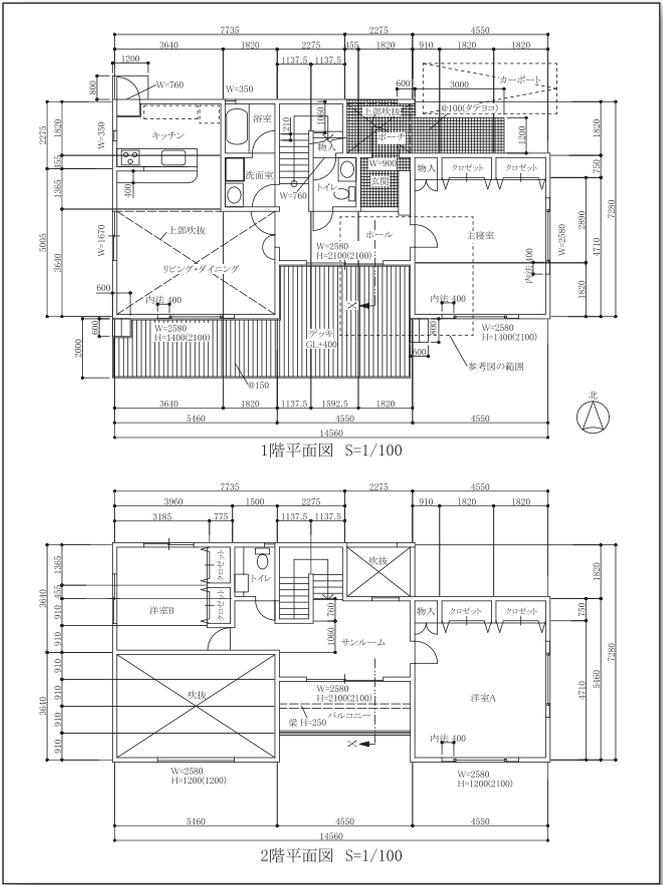
2級試験 <試験時間: 5時間>

出題内容

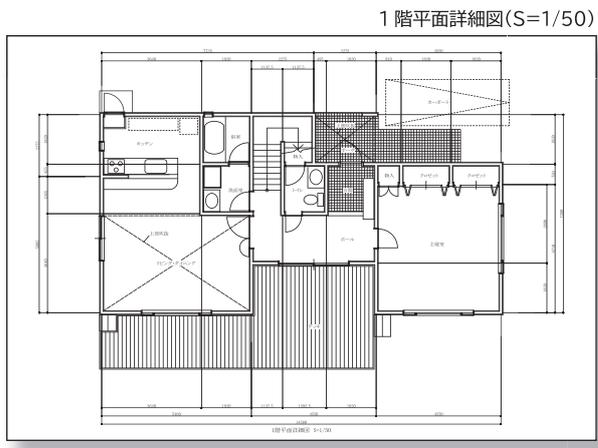
自らの持つ建築知識をもとに、CADシステムを使って建築図面を作成する実力を備えているかを問う。試験は実技試験で、一定時間内に下記の例に示す建築一般図を2面作成する。

- <例> ・設計者の描いたラフスケッチ(平面図)(S=1/100)をもとに平面詳細図(S=1/50)を完成させる
- ・平面図、断面図、屋根伏図(S=1/100)、透視図をもとに立面図(S=1/50)を完成させる など

■ 出題例 (A4サイズ)



解答例 (A3サイズ)



POINT

1階平面詳細図の作成

問題の「平面詳細図の参考図」では、1階平面詳細図を作成する際の壁やサッシなどの具体的な表現方法(密度の見本)が示されますので、その密度に習い「1階平面図」の情報から平面詳細図を描きます。

立面図の作成

問題の「1階・2階平面図」から壁などの位置を読み取り、「屋根伏図」からは屋根の勾配や形状、「断面図」からは高さの情報を読み取ります。そしてそれぞれの情報から立体を形成し、透視図も参考にしながら描きます。

准2級試験 <試験時間:3時間>

出題内容

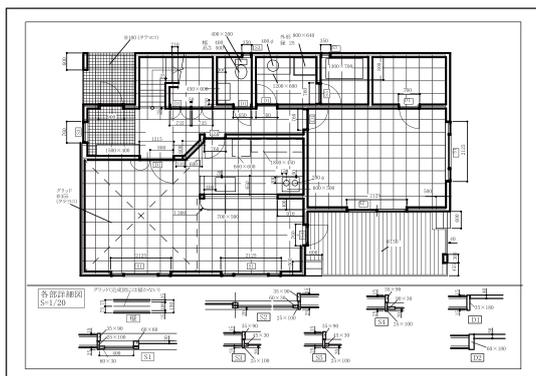
建築図面への理解に加え、CADシステムの操作においてその速さと正確性を持ってトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で一定時間内に下記の例に示す建築一般図を2面作成する。

- <例>
- ・「参考図1」(1階平面詳細図 S=1/60、各部詳細図 S=1/20)をもとに、「完成図1」(1階平面詳細図 S=1/50)を完成させる
 - ・「参考図2」(南立面図 S=1/60、2階平面図 S=1/200、透視図)をもとに、「完成図2」(南立面図 S=1/50)を完成させる など

出題例

【参考図1】

(A4サイズ)



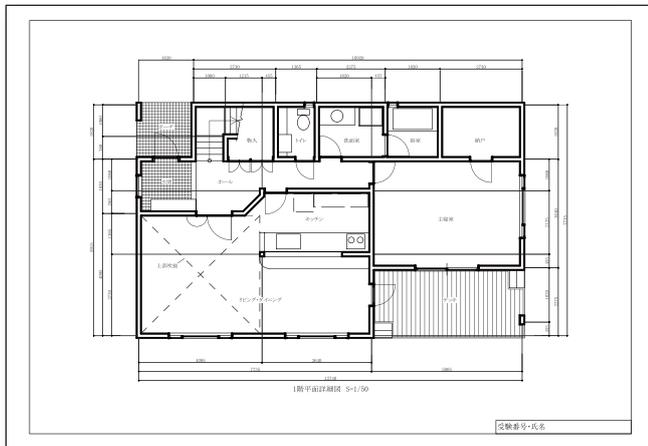
【参考図2】

(A4サイズ)



【完成図1】

(A3サイズ)



1階平面詳細図(S=1/50)

【完成図2】

(A3サイズ)



南立面図(S=1/50)

POINT

1階平面詳細図(完成図1)の作成

参考図1に記載の「1階平面詳細図」と「各部詳細図」の情報から正確に位置やサイズを読み取ってトレース(模写)し、完成図1と同じ図面を作成していきます。「1階平面詳細図」にはグリッド線が示されるため壁や建具の位置関係は必ずそこから読み取ります。

なお、完成図にある室名や文字列、壁の位置を示す寸法(寸法線)は参考図には記載がないため必ず完成図から読み取るようにします。参考図にないからといって完成図に描かないと減点の対象になります。

南立面図(完成図2)の作成

参考図2に記載の「南立面図」、「2階平面図」、「透視図」の情報をもとにトレース(模写)し、完成図2と同じ図面を作成していきます。「南立面図」にはGLを基準とした「高さの情報」や、屋根の勾配・軒の出・ケラバの寸法などの「屋根の情報」が示されますのでそれらを正確に読み取る能力が求められます。なお、南立面図にもグリッド線が示されますので屋根位置(高さ)や、壁・建具・造材材などの位置も必ずここから正確に読み取り作成していきます。

3

3級試験 <試験時間: 2時間>

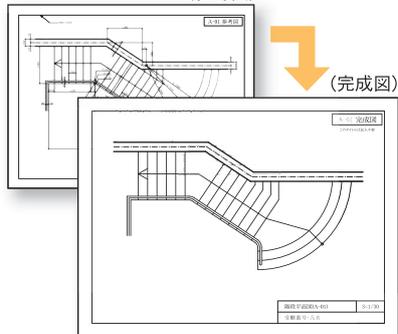
出題内容

与えられた建築図面をCADシステムを使って正しくトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で、建築図面の要素を取り出して作成した参考図をもとに、完成図を一定時間内に作成する。なお問題数は4題である。

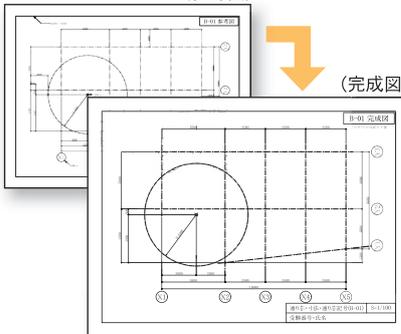
- <例> ・階段平面図 (S=1/30) ・通り芯・寸法・通り芯記号 (S=1/100)
 ・柱・壁・間仕切壁 (S=1/100) ・壁と窓 (S=1/30) など

出題例 (A4サイズ)

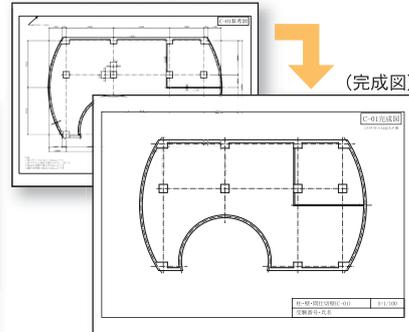
【階段平面図】 (参考図)



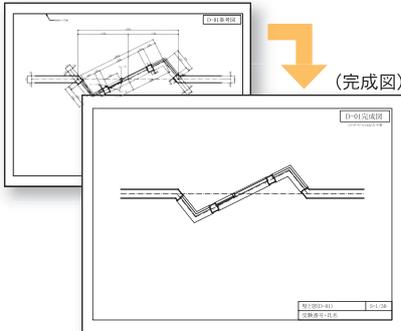
【通り芯・寸法・通り芯記号】 (参考図)



【柱・壁・間仕切壁】 (参考図)



【壁と窓】 (参考図)



POINT

試験問題の4題は、いずれの課題も「完成図」と「参考図」がセットになっており、受験者は与えられた「完成図」をトレース(模写)して全く同じ図面を作成します。「参考図」には完成図を作成するために必要な情報が細かく記載されていますので、その情報から制限時間内に正確にCADを操作していきます。また、3級問題は課題図面に円弧や斜め線が多く使われているため、様々なコマンドの操作方法を習得していることが重要になります。

4

4級試験 <試験時間: 2時間> ※高校の団体受験のみの実施

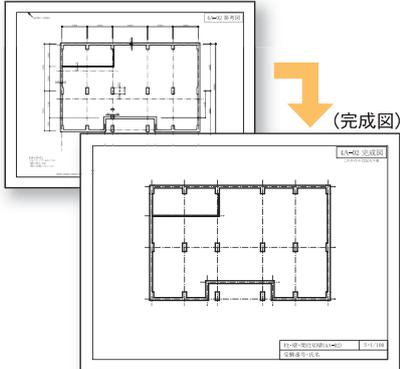
出題内容

与えられた建築図面をCADシステムを使って正しくトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で、建築図面の要素を取り出して作成した参考図をもとに、完成図を一定時間内に作成する。なお問題数は3題で、難易度は3級検定試験より易しい。

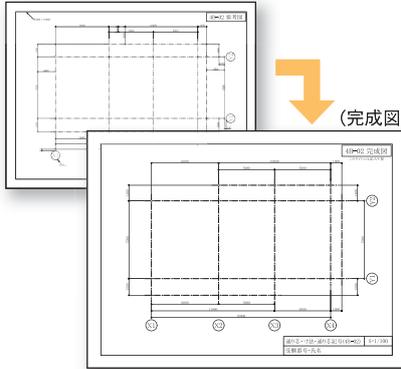
- <例> ・柱・壁・間仕切壁 (S=1/100) ・通り芯・寸法・通り芯記号 (S=1/100)
 ・壁と窓 (S=1/30) など

出題例 (A4サイズ)

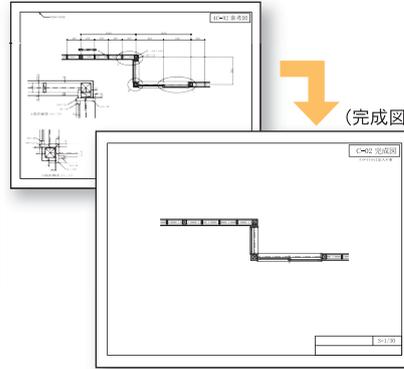
【柱・壁・間仕切壁】 (参考図)



【通り芯・寸法・通り芯記号】 (参考図)



【壁と窓】 (参考図)



POINT

4級問題は3級問題と比べ「階段平面図」の課題図面がなく出題が1題少ないという点と、ほぼ直線のみで図面が完成できるという点で異なります。高校生向けの試験であることから「壁と窓」の課題では木造住宅を意識した内容となっており、3級問題よりも詳細に描く必要があります。曲線が少なく使用するコマンドも基礎的なものになるため難易度は3級より易しい内容になっています。

採点について

建築CAD検定試験の採点は機械ではなく人間の目で行います。図面は通常の製図法によって表現されなければなりません。その共通のルールをしっかりと押さえれば、図面の描き方は人それぞれありその表現力が発揮されます。なぜ、当検定試験では採点を人間の目で行うのか理由はそこにあります。機械で採点をするということは、答えを一つに決めてしまうことになりかねませんし授業そのものが試験のための勉強になってしまうおそれがあるからです。「図面の解答の描き方は一つではない」ということについてお考えいただくきっかけになればと思います。

採点方法

具体的には受験者が入力した図面を印刷して行います。印刷した図面を正解図面と重ね合わせてトレース台(下から照明で照らす器具)に載せ、その線の1本1本の位置・長さ・形状・サイズ等が正確に描かれているかを厳しく見ていきます。この方法は緻密で複数の人間がチェックするため大変信頼がおけるものです。

チェックする項目は各級(准1級を除く)のそれぞれの課題図面ごとに決められており公式ガイドブックや指導者用ハンドブックでも公表しています。

配点について

各図面のチェック項目をもとにトレース台で確認し採点します。チェック項目は、例えば3級の「階段平面図」であれば、「段板」・「壁」・「雑線」・「包絡」などの項目があり、その項目ごとにチェックする箇所数が決まっています。そしてそのすべてのチェック箇所のうち何%程度正解しているかによって1～6のランクに分け(下記参照)配点していきます(准2級はランク評価ではなく正解率で可否を判断)。なお、准1級は制限時間内にすべての図面を完成させられるかどうかの可否の基準のため、他の級のような点数化することを目的としたチェック項目はありません。

ランクの基準

ランク1	表現や大きさが適切で、必要数全て入力されている。
ランク2	表現や大きさが適切で、必要数の80%程度入力されている。
ランク3	表現や大きさが適切で、必要数の60%程度入力されている。
ランク4	表現や大きさが適切で、必要数の40%程度入力されている。
ランク5	表現や大きさが適切で、必要数の20%程度入力されている。
ランク6	ランク5に満たない。

注意事項

採点は、問題に寸法の指示がある場合は、指定された位置・長さ・サイズ等が正確に描けていないと必ず減点の対象になります。これは、将来の建築・建設業を担う若い方々や現在実際に社会で活躍されている方々に対し、図面とはどういうものなのかをもう一度考えて欲しいと願うからです。

実社会で図面にミスは許されません。なぜならCADで表現される1本1本の線や数値が、大切な人の命と財産を守る建造物の安全性に重大な役割を持っているからです。

このような考えから、当試験では仮に全体として図面が完成していても、それが正しい図面でなければ一切得点の対象にならないということをご理解いただきたいと思います。

ボーダーライン

各級のボーダーライン

2級	250点(平面詳細図100点・南立面図150点)満点中の195点以上
准2級	正解率75～80%以上
3級	200点(階段55点・通り芯40点・壁50点・建具55点)満点中の150点以上
4級	200点(壁65点・通り芯50点・建具85点)満点中の135点以上

※ 問題の難易度を勘案し±5点ほど変動する場合があります(准2級を除く)

Q1. なぜ1級がないのですか？

1級の能力はこうあるべきという設定はしています。具体的には「設計組織におけるCAD管理者(スーパーバイザー)」の役割をこなせる人物が相当であろうと考えています。しかし試験方法が現実的には難しく実施の予定はありません。

Q2. 受験できるCADソフトに制限はありますか？

建築専用CADのような図面の自動生成機能をもたない、いわゆる汎用のCADソフトであればとくに制限はございません。

Q3. 他の資格とどのような違いがありますか？

CAD資格の多くは筆記試験を課するという特徴がありますが、当試験は実践型の「実技試験」になります。筆記がないかわりに実社会で要求されるCAD操作の真の実務能力が求められます。

Q4. どの級からでも受験できますか？

受験の制限はなく、ご自分のスキルに合わせて自由に受験級をご選択いただけます。

Q5. 試験日は具体的にはいつですか？

団体受験の場合、試験日は予め設定された期間の中から各学校が指定します。一方、一般受験は試験会場ごとに試験日が異なるため、願書受付開始時にホームページで発表される情報にてご確認くださいませす。なお、企業による社内受験は年間を通し随時実施いただけます。

Q6. この試験は何かの製図規格に従っているのですか？

当試験はCADの技術能力を判断するための試験ですので、何かの製図規格に従っているわけではありません。よって試験問題に書かれている「注意書き」に反していなければ問題ありません。

Q7. 採点について教えてください？

採点は機械ではなく人間の目で行います。具体的には印刷した受験者の図面を正解図面と重ねてトレース台に載せ、下から照明を当てて線の1本1本の位置・長さ・形状などを確認します。採点は複数回行うため緻密で大変厳格なものです。

Q8. 各図面ごとの足きり点がありますか？

当試験には足きり点はありません。すべての図面の合計点がボーダーに達していれば合格になります。なお、提出する図面が1題でも欠けていると採点対象外(失格)となります。

Q9. 解答図面はレイヤー分けしないとだめですか？

レイヤーの使い分けは評価の対象外です。しかし、試験中の編集作業を考えた場合、レイヤー分けされる方をお勧めします。

Q10. 使用する線の太さは使い分けしないとだめですか？

使い分けの方が見やすく望ましいですが、試験の採点では評価の対象にしません。

合格者の声

●今は現場監督という仕事に携わっていますが、業務の範囲も広く寺院の復元における図面データを作成するなどしています。CADには深く関わっていて建築CAD検定2級の資格取得が大変活かされていると実感しています。今後は専門職以外の分野でも、CAD技術を応用させるなどして自分の業務に幅を持たせ、さらに成長していきたいです。

●専門学校に入学して初めてCADを学び始めましたが、この建築CAD検定を目標に勉強する事によって段階的に使いこなすことが出来るようになりました。学生時、資格を取れたことで社会へ入る際の大きな自信にすることができたと思っています。現在はCADによる製図の業務に携わっており、今後は実務を通してさらにCADについて学び仕事に活用していきたいと思っています。

●専門学校へ通っていたので、就職活動をする際、ほかの学生とスキルの差別化を図り、面接に有利になるために何かしたいと思い建築CAD検定を受けました。“CADが扱える”という証があるというのは、口頭で言うだけより強みがあり、就職試験では大変有利になると思います。また、就職後は資格手当がもらえたりもするので、この資格を得て今、とても良かったと思っています。

●現在の仕事は、CADソフトのインストラクターという建築CADに関わるものです。大学在学中に「建築CAD検定試験2級」を取得しました。この資格を取得したことで就職活動への大きな自信が付いたことは勿論、採用決定にとっても大きな効果をもたらしてくれたと実感しています。資格取得という自信と学生時代授業で学んだCADの技術と理論が礎となり、今の仕事に活かされています。

●私は、高校時代から建築やインテリアに興味があったため、専門学校に進学しました。これから建築業界で活躍していく為に、と思い在学中に建築CAD検定3級を取得しました。試験は実務に即した内容なので現在はCAD検定の資格を活かし、CAD図面はもちろんパース等も描いています。学生時代に学んだCADを基礎とし、これからあらゆる分野で活躍するのが夢です。

●建築の専門学校を卒業後、建築研究・教育機関に就職した際、今後はCADを使えることが必須になるのではないかと考え、複数のCADソフトを勉強し、スキルの目安としてCAD資格を取得しました。その後建築設計事務所に所属し独立。現在は、建築図面は勿論、屋上庭園やオリジナル家具のデザインなど、2Dだけでなく3D・CG化し、プレゼン資料作成に役立っています。

●CADオペレーターは実務経験者が必須の会社が多いので、就職は難しいと思っていましたが、建築CAD検定3級を取得している事とCADの仕事がしたいという熱意で比較的早く決まりました。最初に設計士から仕事を任せられ立派な図面ができあがったときの感動は今でも忘れられません。将来は設計士を目指し自分で設計した図面で建物を建てるのが夢です。

●私は専門学校の建築科を卒業して設計事務所に入社しました。入社して建築確認申請や耐震診断などの業務に携わっています。専門化された業務の中では学校で学んだ基礎的な知識がすぐに通用することが少ない中で、「建築CAD検定試験2級」を取得するために努力し備わったCADのスキルは入社してすぐに役立つことができました。今後はより深く建築を学び、多くの建築設計を手掛けたいと志しています。

ジュニアマイスターおよびアグリマイスター
顕彰制度の対象資格

当試験は、公益社団法人全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度ならびに、全国農業高等学校長協会主催のアグリマイスター顕彰制度の対象資格です。

この制度は在学期間中に取得した資格やコンクールなどの成績により各顕彰制度が定める得点が得られ、その合計の得点で各種称号が得られる制度です。

進学や就職に大変有益なことから、高校生による当資格受験者も年々増加傾向にあります。

なお、区分表による得点は下記のとおりです。

ジュニアマイスター 区分表(得点)

准1級：A(20点)／2級：B(12点)／准2級：C(7点)／
3級：D(4点)／4級：E(2点)

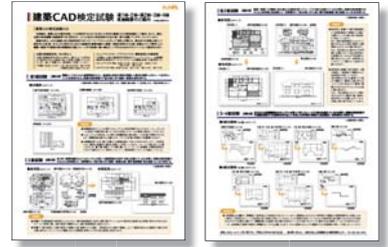
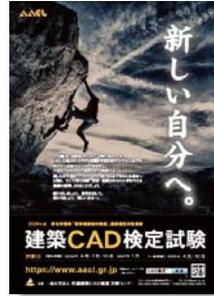
アグリマイスター 区分表(得点) 登録区分：区分B

准1級：A(20点)／2級：C(7点)／3級：D(4点)／4級：F(1点)

ポスター・フライヤー(教育機関・企業対象)

学校や社内掲示用の当検定試験の告知ポスター及び、受験者向けの案内フライヤーです。

受験を検討される学生や社員の皆様に当検定試験をご紹介いただく際にご利用ください。



●ポスター/A2判・A3判

●フライヤー/A4判

※いずれも無料でお送りしています。ご希望の教育機関・企業様は当連盟までお申し込み下さい。

認定証

認定証は就職活動などでご自分のスキルをわかりやすい形で証明するもので、合格者でご希望の方に有償で発行しております。

本認定証はWEB上で発行しダウンロードする仕様のため、スマートフォンやパソコン・タブレット等に保存ができ、紛失した場合も無料で何度でも再発行ができ安心です。

お好みの用紙に印刷して額装いただくこともでき、もちろん印刷した認定証は資格保有者としての公式の証明書としてご利用いただけます。

デザイン見本



●サイズ/B5判(PDFデータ)

表示・保存イメージ

◆スマートフォン



◆タブレット



◆パソコン



◆額装



※有効期限もないため一度発行すれば将来にわたり永続的に所持いただけます。

■発行手数料/2,000円(税込み)

受験者統計データ

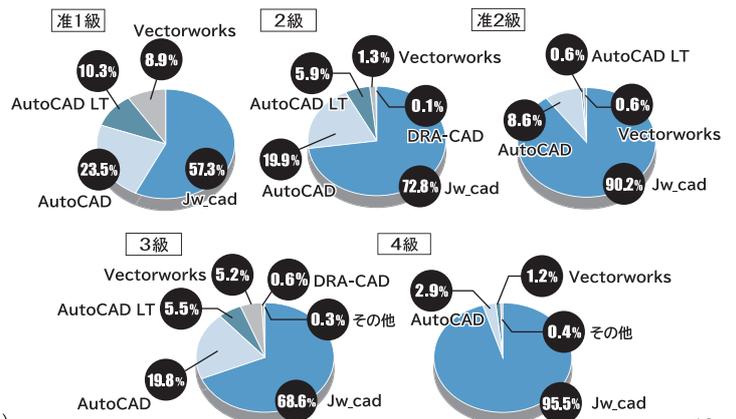
■ 受験申込者数(過去10年間)



■ 合格率(過去5年間)

等級	年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
准1級		19.2%	7.1%	12.5%	14.1%	2.0%
2級		60.1%	58.3%	57.9%	60.3%	67.7%
准2級		58.9%	—	—	—	—
3級		72.2%	69.7%	65.6%	61.5%	64.8%
4級		89.9%	91.3%	89.7%	93.3%	92.5%

■ CADソフト別受験者データ(2024年度)



試験認定校としてご登録(無料)いただくと、普段お使いの教室にて「団体受験」として受験いただけます。人数に制限はなく希望者1名からお申込みいただけます。教育機関の方は試験認定校へのご登録をお勧めします。

試験認定校の特典

- 年に4回実施されるすべての試験で受験できます。
- 試験に関する最新情報の提供が受けられます。
- 連盟主催の指導者講習会、学校訪問説明会が利用できます。
- 指導者用ハンドブックをご購入いただけます。
- 4級を受験いただけます(高等学校対象)。
- 2級・准2級・3級の同時受験及び受験料の併願割引が受けられます。
- 連盟が出版する過去問題集の割引購入が受けられます。
- 建築CAD検定試験 Web ページに貴校名等を掲載します。
- 普段使い慣れた環境(教室)で受験ができます。



指導者用ハンドブック
 ■定価1,320円+送料・発送手数料330円(税込み)
 ※一般販売は行っていません



団体受験実施風景

受験対策・テキスト

公式ガイドブック

試験に必要な基礎知識をわかりやすく紹介するとともに実際に出題された問題を使った解法例を細かく掲載。さらに難関の「准1級試験」についても解説し、試験対策や合格するためのポイントについても紹介しております。資格をを取得して就職や仕事に役立てたいという皆さんを強力にバックアップいたします。

■定価3,520円(税込み) (2003年初版 毎年発行)

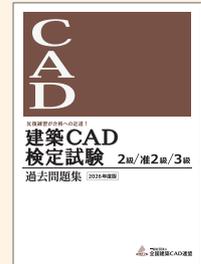


(株)エクスナレッジ発行

問題集

過去1年間に本試験で出題された試験問題を掲載しています(各級4題)。過去問題を繰り返し解くことで合格に必要な知識と技術が習得できます。有効な受験対策としてご活用ください。
 ※准1級用、2級・准2級・3級用、4級用の3種あり

- 准1級/定価1,650円(税込み)
- 2級・准2級・3級/定価3,080円(税込み)
- 4級/定価1,100円(税込み) ※認定校(高校)のみ購入可
 ※別途送料・発送手数料330円(税込み)が必要で



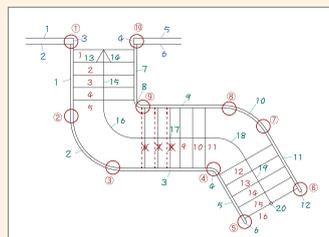
2級・准2級・3級用(見本)

模擬テスト

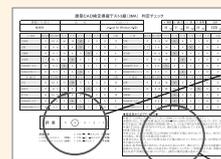
本試験の前に、本番さながらのテストを体験して、確実に資格を得たいと考える受験者のための「模擬テスト」です。

赤ペンチェックされた図面や、判定チェック表を活用することで、自身のCADスキルが的確に把握できます。 ※2級・准2級・3級のみ実施

■テスト料/2級:4,000円、准2級:3,500円、3級:3,000円(税込み)



採点図面見本



判定チェック表

(拡大)

評価	5	4	3	2	1
評価基準	5:合格点+30点以上	4:合格点+20~29点以内	3:合格点+11~19点以内	2:合格点+1~10点以内	1:合格点-0点以内
	(合格)	(合格)	(合格)	(合格)	(不合格)

(拡大)

◆採点者からのアドバイス◆
 全体的によく描けていて合格圏内ですが、もう少し練習して確実な「階段(A)の図面では、右斜め下の手すり先端の位置が少しずれていて参考図の寸法を確認しながら作図しておきましょう。壁の線の描き忘れにはご注意ください。
 「通り窓(B)の図面はよく描けていますが、角度表示の位置が1ヵ所「多」大きく違っています。正確にトレースする試験ですから留意して描きまし

指導者講習会(会場型説明会)

毎年、全国各地にて先生方を対象とした無料説明会を開催しています。試験の注意点や最新の試験問題の傾向、そして合格率を上げるための重要なポイントなど有益な情報をご提供します。ご指導の際に是非お役立てください。



指導者講習会(説明会)風景

●例年、全国主要都市で開催しています。近隣に会場がない場合や都合により参加できない場合は学校訪問説明会をご利用下さい(無料)。

学校訪問説明会

全国の教育機関に直接訪問し、指導者講習会ではご説明できない、それぞれの学校のご要望・ご相談に対応した個別の説明会です(無料)。各校の過去の受験者の解答図面の傾向から今後注意すべき点など、指導内容の改善に向けたご提案も行っています。



●実施時期などの詳細はホームページでご確認下さい。



一般社団法人
全国建築CAD連盟 試験センター

〈本部〉〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7階
 TEL.052-962-5544 / FAX.052-962-5570 E-mail info@aacl.gr.jp

<https://www.aacl.gr.jp>